

学科	日程	方式	志願者	増減	受験者	合格者	増減	競争率		合格最低点
								'24	'23	
保健看護学科	Ⅱ期	専願制(2科目型)	25 (20)	-4	22 (18)	6 (4)	-1	3.7	3.9	192/300
		併願制(2科目型)	40 (35)	-8	39 (34)	18 (16)	0	2.2	2.4	163/250
理学療法学科	Ⅱ期	専願制(2科目型)	9 (2)	-7	7 (2)	6 (2)	-1	1.2	1.7	138/300
		併願制(2科目型)	18 (8)	1	16 (7)	9 (5)	3	1.8	2.3	132/250
作業療法学科	Ⅱ期	専願制(2科目型)	1 (0)	-2	1 (0)	1 (0)	-2	1.0	1.0	143/300
		併願制(2科目型)	1 (1)	-8	1 (1)	1 (1)	-7	1.0	1.0	122/250
臨床検査学科	Ⅱ期	専願制(2科目型)	6 (3)	0	6 (3)	4 (3)	-1	1.5	1.2	167/300
		併願制(2科目型)	24 (18)	4	20 (16)	13 (11)	3	1.5	1.9	142/250
はり灸・スポーツ トレーナー学科	Ⅱ期	専願制(2科目型)	1 (0)	1	1 (0)	1 (0)	1	1.0	-	210/300
		併願制(2科目型)	0 (0)	-1				-	1.0	-
ヘルスプロモーション 整復学科	Ⅱ期	専願制(2科目型)	0 (0)	-1				-	1.0	-
		併願制(2科目型)	0 (0)	-1				-	1.0	-

() 内は女子内数

注) 競争率=受験者/合格者(小数点第2位を四捨五入)

集計には第2志望以下での合格者を含んでいます。

合格最低点は第1志望のもので、第2志望以下では合格最低点に達していても合格でない場合があります。

公募Ⅱの合否判定にあたって

本学では、近年の出願状況や進学活動の早期化の動きなどに対応して、今期の入試から、総合型選抜に「基礎学力型(専願制)」を新設しました。その結果、10月に実施した総合型選抜においては、小論文型から基礎学力型に志願者が流れる動きが見られたとともに、これまでは公募推薦から出願を開始していた受験者層が総合型選抜から前倒しで出願する動きが見られました。

先に実施した公募Ⅰまででは、保健看護、臨床検査の2学科は堅調に志願者を集めていましたが、リハビリ系の2学科は大きく志願者を減らす結果となっていました。

公募Ⅱは、例年、Ⅰ期不合格者の再チャレンジ組が多くを占めるため、公募Ⅰと同様の出願傾向を示すこととなります。今年も再出願者が全体の半数を占めており、専願制は、前年比25.0%の大幅ダウン、併願制では12.1%のダウンとなりました。

学科別の主なところでは、**保健看護**は、専願制、併願制ともに1割を超す志願者減となりました。合格者を昨年並みとしたことで、競争率は専願制3.7倍、併願制2.2倍と昨年をやや下回りましたが、合格最低点は昨年と同水準となっています。また、この競争率の差は両方式の得点状況等を踏まえたもので、基礎学力検査の得点率(中央値補正法による得点調整後)は併願制で概ね60%、専願制で55%あたりがボーダーという状況です。**臨床検査**も昨年と大きく変わらない結果でしたが、リハビリ系2学科についてはⅠ期と同じく志願者の減少が目立ちました。

併願制合格者が多くなったこともあり、歩留まりの低下も予想されるため、一般選抜での合格のチャンスは十分にあるものと思われれますので、引き続きよろしく願いいたします。